
幼馴染？を振り回して～結城 里奈の場合～

雷

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

幼馴染？を振り回して～結城　里奈の場合～

【Zコード】

Z8737Z

【作者名】

雷

【あらすじ】

里奈と龍幼き頃は親友同士だった2人・・・しかし里奈のお父さんの都合により里奈はアメリカへ・・・そしてそれから10年後・・・里奈は龍のことを思いそして帰ってきた！――！

私の生活への変化が――――――――

10年前

里「龍君泣いぢやダメだよ・・・。里奈も泣きたいけど我慢する・・・。」

龍一 嫌だよ里奈ちゃん行かないで行かないで！！！」「里「魔物型絆は」「うなぎやなうが」…。魔物」「は誰

「お父さんはここへいかなれや。」

龍「嫌だよ。だつてもう会えないんでしょ？」

黒いものがとない。行きてれば、と答へる。

龍一 が二た

龍：黒ひきりけんまん 嘘ついたら 金千本のうます 指切

里「またね龍君！-！-！」

四庫全書

母「ほんとに”明星学園”に行きたいの？」

里「うん。龍君に会いたいし。それにねす」

お父さんは反対してたけど……」

に”4月10日”に行きなさい”

母「行つてからのお楽しみよ

里「分かつたんじゃあお母さんまた夏にね……」

由「ハニシヤの販売店だよ。」

里「うんお母さんも氣をつけてね！！！」

母「後そのお父さんの手紙も読むんだよ…………由美に迷惑かけないでね」

里「うんおばちゃんたちに迷惑かからなによつてするからじゃね」

母「元氣でねええええ」

里「うん。ていつまでたつてもいけないじゃん…………」

母「今頃氣付いたの！？」

里「んじゃあこれで最後ねバイバイ」

母「バイバイ」

こうしてわたしこと里奈は家から出て行ったのであった。。。

はあここ行けって言われてもどこだらう。。。

今は4月7日。。。

里「明日は入学式があ。。。。早いなあ。。。。それより同じクラスになりますように。。。。」

龍君私のこと覚えてるよね。。。

何か自信ないなあ。。。。。

里「はあ。。。。」

まつ大丈夫だよね神様

続く

私の話だけ終わらせひどくない！！！！！！

入学式つてこんな感じなの?

はあ入学式だあ ・・・

卷之三

たてたてたてたての人の前で詰るのは初めてなんだよ!

卷之三

井端源吉著『日本の歴史』

まあの二年生は、スバルの車で頑張る。

あつ始まる！！！

？？？「一年生のガキども！-！-！元気はあるか？」

えつ1年生のガキどもって言わなかつたこの人！？
それより皆反応してなハジヤン！

卷之三

んじゃあ1年生元気あるか!!

卷之三

「『お前が『死つる……!!』の学校の校訓は元氣やあ

氣、
、
友情の3つだあああ

あ！！！ただ学校に来てつまらなく勉強はいかじや面[めん]くな

いかで、この空林に木林を表に起

驚いたか？この学校は勉強するところじゃない！！！遊ぶところだ！

！――――――！たんと遊んでたんと

学べ――――以上2年生徒会長大野峰桜！――――」

ううケースバイケースとは行つたものの眞面目に考えすぎちゃつた
な・・・。
どうしよう・・・。
どうあえず適当に言えればいいや

里「いい言葉ありがとひざいました”元氣””やる気””友情”
の3つだけでなく”愛情”も持つて私たち1年生はこれから明星学
園で過ごしたいと思います。1年生代表結城里奈」
はあ緊張して変なことも言つちやつた・・・。
3年生の前で言つのがめつちや辛いよ・・・。
あつこの中に龍君いるかな・・・。
聞こうかな。

きいちやお

里「あつ後この学校にいるはずの中崎龍君って知りませんか？知つ
てたら教えて下さい――！」

言つちやつた――――

やばいもう失神しそう・・・。

あそこの人とか驚いて目開いてて真つ赤になつてるしwww
その隣の男の子と話してる。

気になるよおおおおおおお

こうして里奈の波乱の入学式は幕を閉じた・・・。
だ・か・ら私の話の終わらせ方酷いよ――――――

愛しの彼とクラスが一緒に――――――

はあ・・・。

つかれたああああ・・・。

それは5分前・・・。

私のあの龍君は私のもの宣言?した後からクラスの女の子に質問攻めを受けていたのである。

もう何で私が龍君のことが好きなだけなのにあんなに質問攻めされないといけないの――――

神様なんて最低!――――

うん誰か近づいてきた・・・。

誰だらう・・・。

? ? ? 「ねえねえ君が結城里奈さん?」

うんあんた誰?

私今疲れてるの・・・。

里「そうですけど・・・。あなた誰ですか?」

? ? ? 「俺中崎龍つて言つんだ!――――」

いやいや嘘でしょ www

名前に柳海斗つて書いてるし www

里「ホントですか!――――あなたが龍君!――――」

龍(偽)「おう俺が龍!――――」

ふつおもしろいからちよつと聞いてみよう www

里「じゃあ10年前の約束覚えてますか?」

龍(偽)「おう・・・。」

さあてあてられるかなかなあ?や・な・ぎ・くん www

里「どんな内容でしたか?」

龍(偽)「・・・。そんなの忘れたよ・・・。」

あれえ？今さつき知つてるつていつたよね？よね？

里「忘れたんですか・・・。忘れないように2人で同じもの買ったのに・・・。それなのに忘れたんですか！？？？」

嘘だけど www

龍（偽）「おつ覚えているよ・・・。」

里「んじやあ言つてみて下さい」

龍（偽）「確かに君とあつて君と付き合つだつたかな・・・。」

里「ぶつぶつ。残念外れですよ、柳海斗君・・・。」

中（偽）「やつ、柳海斗って誰ですか（――――）？」

嘘へたくそだなあきみきみい www

里「君の事ですよ君のこと・・・。まず第1にネームに柳海斗つて書いています。なのに中崎龍つてなののはおかしいと思いませんか？第2に龍君は私のことを里奈さんつて呼びません。そして第3に10年前の約束。そんな約束ではありません。だからあなたは龍君と違うんですよ柳君」

海「すごいですね・・・。」

里「皆さんも龍君のふりしたりしないでくださいね したら許さないからね？」

「――」「ええええええええええええ」「――」

はあ入学早々何やねん www

うん？今来たのかなああの二人組の男の子・・・。
かつこいいなあ2人ともまつでも龍君はもつとかつこいいよね！――
龍君つてこのクラスだつたかなあ？

前の人には聞こう！――

里「トントンねえねえ

？「うん何？」

うわあすつごく可愛い人！！！

里「私結城里奈つて言つのようにじくね――。」

？「よろしく。」

里「あなたは名前何ていうの？」

奈「私？私は結城奈美って言ひの。」

里「名字同じだね！－！」

奈「そうだね。」

里「奈美って読んでいい？それから私のことは里奈って呼んで」
奈「うん！」

ううんこの子たちから元気なきない？

どうしたのかなあ・・・。

まあ聞いてみよう！－－－！

里「奈美元気なきない？」

奈「そう？」

里「うん。なんかあつたの？」

知り合って5分もたたない人にいうわけないよね・・・。

奈「実はね」

つて言うんかい！－－！

里「なになに？」

奈「今さつき入ってきた男の子たちいたじやん？」

男の子たち？

ああかつこいい人達！－－！

里「うん。」

奈「あいつらとは幼馴染なんだけどその何て言ひの・・・。ちょっと子供っぽい感じの方分かる？」

子供っぽい・・・。？

ううん？

里「多分こいつちだと思ひ・・・。」

奈「うんあの今真ん中の後ろから2番田に座ってる方ね・・・。
えつそつち！－－！」

里「ああうん！－－！」

奈「そいつのことが好きなんだけど・・・。あつ名前は中崎樹って
言つんだけども・・・。」

中崎！－－－－－！

里「それで？」

奈「両思いなのに中々好きって言つてくれないの……！」

里「そつか……。」

奈「うん……。あつそれよりいっちゃんの後ひじやなかつた樹の後に座つてるのが中崎龍だよ……！」

あつ顔赤くなつてる……！

かわいい……！

里「えつホント？」

奈「うん……。」

里「あんだけかっこよかつたら彼女いそうだなあ……。」

奈「それがねえ……。里奈のこと待つてゐみたいで何回告りられても断つてゐるんだよねえ……。」

里「そうなの……。」

奈「うん……。」

こうして自己紹介まで時間が過ぎていった……！
だから私のだけ微妙で終わらせない……！

愛しの彼とクラスが一緒に……（後書き）

いやあ微妙で終わってすいまそん！！！

里「ちやんと龍君や奈美、樹君の話みたいにちやんと終わらせてよ
！！！」

いやあむずかしいんだよ里奈の話。。。

里「そんなこと言わないの！！！だから私のだけ読む人少ないんだ
よ！！！」

確かに（――・・）

これからは頑張ります（――・・）

里「これからも幼馴染に振り回されて＆幼馴染を振り回しての幼馴
染シリーズ第1段よろしく 感想も書いてくれたら助かるな 以上
里奈からでした！！！」

いや俺からだよ！！！！

愛しの彼席が隣に！？

キンコーンカーンコーン

先生が先生がおとて語やう

四庫全書

「さ、は座れ。一日酔いとかありえねえ」

昨日とんたけ飲んだんだよ！！！

要「これからこのクラスの担任になる斎藤」とからつて惚れんなよ！――！」

要「おしめんどーからー一番から名前言つていけ」

「一番の赤坂 裕太だよろしくな」

「2番の桜 麻衣子でいう、女みたいな名前だけどぬいぐるみの子みたいでいい！」

•
•
•
•
•
•
•
•
•

• • • • •

•
•
•
•
•
•
•
•
•

「11番の中崎 ながさき 樹つて言つたや。よみしへしてや。次の奴と奈美 いのま

とは幼馴染也。仲良くしてさ。

女子（（（（語尾が”10”とかかれいい…））））

「12番の中崎 龍つて言う。樹と奈美と幼馴染。よろしく。」

女子（（（クールなとこがかっこいい！！－！－！）））

他の人（奈美ちゃん以外）喋るな！！！！

•
•
•
•
•
•

• • • • •

要「はい男子はほとんど終わつたなんぢやあ次女子いこう!...!!」後
わらひな!!

支那の歴史

里奈 出席番号15番の龍君は私のものだからだれも手出さないで
ね————

ううこれでいい

要「おもしろいなおし柳海斗」

「あつはい! ?」

要 - お前中嶋龍と鹿かねれ!!!!!!

ゼトウイリヤウルタマニ

此處乃和重一之

「これで寵母は私の！！！！！」

里「ありがと先生？」

樹

樹君なに言つてゐんだろう?

要「んじやあ次の奴」

奈、私は結城奈美ですと言います。龍と櫻とは幼馴染で櫻は私のもの

[一九三九年二月號] 詞曲研究

新編 金瓶梅

龍門記

要「おしつ樹もさつさと結城奈美の横と交換しろ……！」に2組

のカツプル誕生だなーーー！」

樹・龍「カツブルじやねえよ！――！」

奈「いつちゃん。私の」と嫌いなの?グスンッ(^__^)いつちゃ

底で言つてます

樹「そんな」とないよ／＼奈美のことは好きだよ／＼里「龍君私にあんな」とや「んな」としたのに私のこと嫌いだったの？」

涙目です！！！

「いやあひじやないけど・・・。てつ俺何もしてないよねー!?

里云はれかか

そこはノッテよ！！！！！

里「龍君は私の」と嫌いなの?

龍一

龍 「それは／／／まあ好き／／／かな？」

龍：勸「」而其聲也。——○

要「いらっしゃいちゃいちやするな・・・。俺も彼女欲しいのに・・・。もつ残りの奴らは今度自己紹介させつから考えとけよ！――以

上解散！！！

「……………やあたま!!!!!!」

愛しの彼席が隣に！？（後書き）

いやあやつぱり里奈は難しいですね（+○+）
誰か交代してえええって言いたいwww
それじゃあこれからも幼馴染シリーズをよろしくです！…！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8737z/>

幼馴染？を振り回して～結城 里奈の場合～

2012年1月14日15時47分発行